～改めて褥瘡について考える～

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　甘木愛光園　平田　将博

沢山のスタッフがいる中で観察のポイントは様々で、職員の中で、発生のメカニズムや注意すべきポイントを十分理解しているだろうか？周知や統一は行き届いているのだろうか？

褥瘡発生の原因として、圧迫とズレにより起こるものと理解していますが、栄養状態も大きく関係しています。発生部分は様々で、こんな所に･･という部位にも発生します。

褥瘡治療には高カロリー、高タンパク食に加え、他の栄養素も重要であり高齢になると食欲、嚥下力、唾液分泌低下により、嗜好や味覚も変化します。私達もどうにか食べて頂けるよう最大限の工夫を行っていますが、摂取量や吸収量が不足し低栄養になる事もあります。発生前の発赤の段階で初動の動きがとれているのか？その部分に対するスタッフの意識が大変重要になると思います。私自身、**発赤**=　**褥瘡**と教わりました。

今後も高齢社会が進み、2065年には高齢化率38％、人口の25％が75歳以上の後期高齢者になる予測もあり、日本は世界一の高齢先進国とも言われています。

日々の体位交換・座位崩れの方へのポジショニングや物品の見直しはもちろん、褥瘡ゼロを目指すには自己学習も行い、興味をもつ事で自身のスキルとする事も大切だと感じます。